

浜松観光ボランティアガイドの会

## 2023年度新人養成講座（現地研修）

【第7回・3月4日（月）】

9時に浜松城天守曲輪集合で、第26期生新人養成講座の現地研修「家康の散歩道を歩く」が実施されました。朝は寒くて風がりましたが、日差しは暖かく、なかなか良いウォーキング日和となりました。26期19名、25期5名、遠鉄アシストさん5名、研修部広報部10名の総勢39名が5つのグループに分かれて歩きました。



地域の方と触れ合った椿姫観音

続いて浜松八幡宮で鳥居の形の違いや千木、鯉木の説明を聞き、雲立楠、松島十湖の句碑、ざざんぎの松を見た後は、二橋染工の横を通り過ぎ、誕生橋と秀忠公お誕生の井戸を見て、遠江分器稻荷神社へ。

街中では黒田稻荷神社で都はるみの奉納絵馬に感心し、松尾神社、金山神社と進むにつれて、26期生に疲れの色が…。先輩講師陣の軽快な歩きに驚いていました。五社神社・諏訪神社で空襲による損失の大きさを知った後は、坂を上り秋葉神社へ。最後は出丸跡を見ながら、浜松城の鎧掛け松の広場に12時過ぎに戻ってきました。たっぷり3時間の行程でした。

それぞれの場所は知っていても、歩いて回ることはなかった人が大半だったようです。「今回位置関係がわかり、座学で学んだ知識を実際に現地に行くことで確認することができて良かった」とのことでした。



数々の歴史を物語る五社神社

広報部 松沼素子（南ブロック）

【第8回・3月11日（月）】

この日の新人養成講座では「家康の散歩道」の「合戦ルート」を研修しました。9時前に天守曲輪に集合しました。遠鉄アシストの天守職員3名に加え、25期生5名が加わる大所帯となり、4つの班に分かれてコースを巡りました。



ブロック長の話を聴く新入会員  
平信祝の娘多世姫の墓等の説明も受けました。

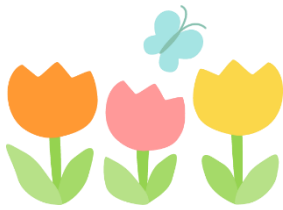
最初の訪問地は普濟寺です。井伊3人衆の内の気賀近藤氏の金指陣屋門を移築したといわれている総門や江戸時代に建立した山門、北山稻荷そして法皇廟を中心にスピーディーに進め、次は西来院へ。ここでは家康公の正室築山御前廟所、異父弟の松平康俊墓碑を中心にいくつかのお墓の説明を受けました。3番目は宗源院です。曹洞宗の普濟寺13派で一番格の高い寺で、今川義元・氏真時代に手厚く庇護されていたようです。

ここには三方ヶ原合戦で家康を支え戦死した成瀬正義、榊原康政の家臣の外山小作、遠藤右近らの墓碑が並んでいます。また、江戸時代の城主松

10時半には西部協働センターに到着。ブロック別に分かれ、ブロック長からブロックの活動状況や注意事項の説明を受けました。26期の皆さん！これから一緒に明るく楽しく観光ガイドをしましょう。困ったことは、ぜひ遠慮なく先輩方に尋ねてください。きっと優しく対応してくれることでしょう。

広報部 柳本幸子（中ブロック）

# 浜名湖花博 2024 はじまるよ～！



「浜名湖花博 2004」から 20 年。2024 年、またもや浜名湖で新たな花博が開催されます。今回のテーマは、「人・自然・テクノロジーの架け橋～レイクハマナ デジタル田園都市～」。

3 月の開催前に友達とはままつフラワーパークへ行ってきました。この日は肌寒かったですが、桜はもう咲いていました。チューリップも芽吹いていて想像図を見てワクワクしたり、吊り橋を見てはしゃいだりの私たちでした。お花見はまだまだ先だったけど遊ぶところがたくさんあることがわかりました。

さて、花博は 3 月 23 日（土）はままつフラワーパークから始まります。「世界一美しい」と賞される「桜とチューリップの庭園」、幻想的なライトアップや色合いが楽しめる藤など、音楽と花とのコラボレーションイベントが開催されるようです。

浜名湖ガーデンパーク会場は 4 月 6 日(土)から。デジタルアート、ワークショップでの花壇づくりなど、誰もが楽しめる空間になるようです。

今回はデジタルアトラクションもあったりして気になるところ。静かなお庭散策もいいけど、華やいだ花博も堪能したいですね。

はままつフラワーパーク会場は 3 月 23 日(土)～6 月 16 日(日)、浜名湖ガーデンパーク会場は 4 月 6 日(土)～6 月 2 日(日)の開催です。

ぜひ足を運んでみてください。

広報部 久保田絢子（中ブロック）



## 中ブロックミニ研修 館山と信玄の堀江城攻め陣地跡等

3 月 19 日（火）懇親会を兼ねた今期最後のミニ研修を実施しました。当ブロックの参加は 15 名+新人 1 名そして他ブロックより 3 名の 19 名です。館山寺観光協会の駐車場に集合しそれから徒歩で大沢氏の本拠地の堀江城址→館山（館山寺、穴大師、チャート海岸、大観音）を巡りました。

館山では浜松城の石垣がここから運び出されたことに納得。放散虫などの死骸が深海底に堆積、プレートの移動と地殻変動で数億年を経て、チャートという硬い岩石となり地表に現れたとのことでした。赤いチャートは鉄分が含まれていることによるそうです。歩きながら湖が見える景色は、とても風光明媚であることを再確認しました。

昼食場所までは遊歩道経由でのんびり観光気分となり、時間がだいぶオーバーしているようでした。食事処弥平次で舌鼓を打ち、館山寺温泉検定問題に挑戦するなど楽しい休憩時間を共有できました。

ここからは午後の部です。三方ヶ原の戦いの翌日に武田軍が堀江城を攻撃した時の陣地等を、地元「堀江しらべ隊」が昨年作成したマップに沿って 5、6カ所巡りました。幹事をした長谷川さん、中島さんとまとめ役の坂本さんが下見で見つけるのにご苦労されたようでした。一旦駐車場に戻り、乗り合いで一路大沢氏ゆかりの宿蘆（しゆくろ）寺に向かいました。予定の時間に遅れたにもかかわらずご住職は快く迎えてくださいました。江戸時代の大沢家 10 代基宿（もといえ）から 19 代基暢（もとのぶ）までと、17 代基之（もとゆき）の嫡男基栄（もとよし）の 11 基の墓碑があります。現在は市の史跡指定となっており、保存状態が良いことから県指定文化財に答申中と翌日の地方紙が報じていました。



赤色がすばらしいチャート海岸にて



大沢家墓所前で幹事の説明を聞く

研修後、ブロック長と幹事による入念な下調べと資料作り、当日のガイドに対し、仲間から「ミニ研修は素晴らしかった」と称賛の声グループラインにたくさん寄せられました。

広報部 柳本幸子（中ブロック）

## 新入会員 自己紹介



民間会社を定年退職した後、アルバイトを2年ほどしました。その後、諸事情により40数年ぶりに浜松に戻って来ました。

「自宅に籠って時を無駄に過ごすのはよくないなあ」と思っている

ると新聞の浜松観光ボランティアガイドの会の募集が目に入りました。「人のために役立つこと、自分にも知識が付き自分のためにもなる。そうだ、これだ」と思い応募をしました。

3カ月の研修を終えましたが「自分は、ボランティアガイドが本当にできるのか」と不安な日々を過ごしています。講師の方々からは「自分の分かる範囲で説明をすればよいです。知らないことは『知りません』と伝え、知識が足りないと感じたことは時間をかけてでもよいので自主的に勉強してください」と元気づけられました。

今後はより見識を深め、来訪者の皆さまに浜松をよく知っていただき、楽しんでいただける観光ボランティアガイドを目指し、努力をしたいと考えます。

北ブロック 高倉祐一



現在の住所で誕生し高校卒業までの18年間を浜松で過ごしました。大学卒業後東北(宮城県)で38年間生活(東北大震災をその地で経験)し、9年前に定年で浜松に戻って来ました。

東北での生活や仕事での海外も含めた他地域の体験から考えて、浜松が一番暮らしやすい活気ある街であると思つづく思います。「やらまいか精神」で活気あふれる素晴らしい街「浜松」がどのようにして誕生したのかをその歴史から理解できないかと考えています。

そうは言っても本や資料を用いて机上で学ぶのではなかなか理解が深まりません。教わるより教える立場になり、日々いろいろな人たちとお話ができれば「ものぐさな私」でも「浜松の活力の源」を少しずつ理解できるのではと考えています。

ご指導よろしくお願ひいたします。

西ブロック 長田勝久



## 会員の交流広場

## 京の冬の旅 高台寺「夜咄」

2月24日より一泊二日で京の冬の旅「紫式部と源氏物語～高台寺の冬の茶会夜咄(よばなし)、京の龍めぐり」に行つて来ました。その旅の中から豊臣秀吉の菩提を弔うために秀吉の正室北政所ねねが創建した京都市東山区の名刹高台寺の冬の茶会「夜咄」(軽装で誰でも参加できる)の体験についてお話したいと思います。



台所坂

だき、夜7時から約20名が一組となり茶室に入りました。

五条大橋東岸のホテルから北東方向にある高台寺まで25分ほどの道のりを歩いて行くことにしました。

法観寺八坂の塔まで続く夢見坂からねねの道を150m行き、台所坂を登るとそこは高台寺です。最初に京料理高台寺羽柴で点心(京ゆば料理の夕食)をいた

しばらくすると照明が消されろうそくの灯りだけとなり、幻想的に冬の夜長を楽しむ冬の夜の茶会「夜咄」の始まりです。闇の中にいると、普段は聞こえないような風の音や火のパチパチといった音も聞こえてきます。ろうそくの火の癒し効果もあり、座禅と同じような緊張感とリラックスが体験できました。

おいしい和菓子と暗闇の中でたてられたお茶を二席いただいたあと、茶会で使われたお道具の紹介があり撮影も楽しみました。

最後に高台寺スタッフによる案内で、秀吉公とねね様をお祀りしている霊屋や伏見城から移築された茶室傘亭、竹林などライトアップされた庭園と境内拝観をして幻想的な一夜を楽しむことができました。

東ブロック 伊藤英典



茶道具拝見

## 会員の交流広場

## ご存じですか？科学館のボランティア

私は浜松市科学館職員として、当館でボランティア活動を支援しています。中学1年生から大人まで、2023年度は48名のメンバーが活動しました。科学に精通した方や人とかかわることが好きな方など、様々なメンバーが活動しています。

小学生の頃に出会った中高生のボランティアに憧れて始めるメンバーもいます。

先日はメンバー同士の交流会を行い、1年間の活動の振り返りなどをしました。



ボランティア交流会の様子

活動の様子を見ながら感じるのは、新たな学びや人とのコミュニケーションなどに、楽しみを感じることの重要性です。

楽しく活動することが、ボランティア活動を長く続けていく1番の秘訣なのではないかと思っています。



サイエンスコミュニケーション研修

私自身も、観光ボランティアを1年間続けられたのは、皆さんとの交流や研修を通じて楽しく過ごせたおかげです。今後も、ボランティア活動を通じてさまざまな方々との交流を楽しみたいと思っています。

科学館にお越しの際は、ぜひ水色のベストを着たボランティアに注目してみてください。

南ブロック 水谷穂波

## 2024年度 会員数

	東ブロック	西ブロック	南ブロック	北ブロック	中ブロック	合計
継続会員(男性)	10名	15名	18名	19名	16名	78名
新入会員(男性)	4名	2名	2名	2名	1名	11名
継続会員(女性)	6名	8名	6名	5名	9名	34名
新入会員(女性)	1名	3名	2名	1名	1名	8名
合計	21名	28名	28名	27名	27名	131名

## 3月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター（浜松駅構内）」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

### 《浜松城》

1日 金	浜松聴覚特別支援学校	4名
15日 金	三重県自衛隊退職者雇用協議会	23名
16日 土	クラブツーリズム名古屋	17名
27日 水	株式会社D2CX	4名
30日 土	TKG	3名

### 《浜松まつり会館》

14日 木	ラクラス上島ショートステイ	5名
-------	---------------	----

### 《犀ヶ崖資料館》

3日 日	秩父鉄道観光の団体	15名
------	-----------	-----

### 《同行ガイド》

3日 日	小林	2名
19日 火	しずおか健康長寿財団	32名

## はままつ案内人会報 261号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会  
〒430-0946 浜松市中央区元城町100-2 (浜松城内)  
TEL 053-456-1303  
メールアドレス mail@hama-svg.jp  
ホームページ http://www.hama-svg.jp/



家康公ゆかりの地

はままつ案内人

検索 🔍